

岩手県金融経済概況（2023年6月）

1. 概況

県内経済は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、下げ止まっている。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、下げ止まっている。

但し、先行指標である公共工事請負金額（2023年6月）は、3ヵ月連続で前年を下回った（前年比△26.5%）。

設備投資は、増加している。

2023年6月短観（岩手県）における2023年度の設備投資計画は、非製造業では前年度比減少するものの、製造業ではEV関連など長期的な需要拡大を見越した能力増強投資のほか、省力化投資や工場集約などもあって前年度を上回り、全産業ベースでも前年度比増加する計画となっている（前年度比+13.8%。前回調査<3月>比+67.8%の上方修正）。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2023年5月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△15.1%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2023年5月）は、引き続き前年を上回った（同+5.3%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2023年6月）は、引き続き前年を上回った（同+23.4%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに回復している。

住宅投資は、下げ止まっている。

新設住宅着工戸数（2023年5月）は、2ヵ月振りに前年を上回った（前年比

+3.4%)。内訳をみると、持家(同△16.2%)、分譲(同△23.8%)は前年を下回ったものの、貸家(同+64.7%)が前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数(季節調整値：2023年4月)は、3ヵ月振りに前月を上回った(前月比+0.7%)。主な業種の指数をみると、生産用機械、はん用機械などが低下した一方、電子部品・デバイス、化学工業などが上昇した。

四半期の動きをみると、2023/1～3月は2期振りに前期比上昇した(2022/7～9月：前期比+5.0%、10～12月：同△5.3%、2023/1～3月：同+2.3%)。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、全体としてみれば改善している。

有効求人倍率(季節調整値：2023年5月)は、1.25倍と6ヵ月振りに前月を上回った(2023年4月：1.23倍)。

雇用者所得(県内合計値：2023年4月)は、名目賃金指数(前年比△2.2%)が前年を下回ったものの、常用雇用指数(同+2.7%)が前年を上回り、引き続き前年を上回った(同+0.4%)。

5. 物価

消費者物価指数(除く生鮮食品：2023年6月)は、引き続き前年を上回った(前年比+3.8%)。

6. 企業倒産

企業倒産(2023年6月)は、3件、負債総額975百万円となった(前年同月は3件、負債総額253百万円)。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出(2023年5月)は、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利(2023年5月)は前月に比べて低下した。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

